

徳大生 大活躍!

生物資源産業学部 2年

戸川 聖香 (とがわ せいか)
山口 舞夏 (やまぐち まいか)
井上 朋美 (いのうえ ともみ)
松村 沙紀 (まつむら さき)

チームワークでつかんだ栄光 受賞よりも友情が将来の宝物



(左から)戸川聖香さん、山口舞夏さん、井上朋美さん、松村沙紀さん

都会で輝く田舎者たち



チーム名 (株) ホルスタイン
井上朋美 戸川聖香
松村沙紀 山口舞夏

チーム名は「ホルスタイン」、「牛」です。この超思いつきの命名には、深い意味と縁があります。それは畜産研究所に見学に行ったとき。りっぱな牛の姿にさりげなく集まった4人。なんとなく息が合いそうな予感。

生物資源産業学部は昨年4月に新設されたばかりの学部。生物資源の製品化、産業化とビジネスにも応用できる幅の広い知識と技術を習得し、創出に貢献できるグローバルな人材を育成することを基本理念としています。

また専門科目「起業体験実習」では、ビジネスプラン作成や起業に必要な知識について、1年次から学んでいます。

授業の課題は「とくしま学生ビジネスプラン道場(四国大学主催)」への参加でした。このコンテストは県内の大学生・高等専門学校生が、地域の課題解決や起業につながる企画を競うもので、昨年初めて開催されました。

個人でも団体でも参加できますが、4人はすぐ一緒にやろうと思いい、出会いが牛だったために「ホルスタイン」を結成しました。コ

ンテストの応募は、なんと82チーム(169名)。

4人は架空の「(株)ホルスタイン」を起業。テーマは「都会で輝く田舎者たち」。徳島の特産品販売や、特産品を使ったメニューを提供する、カフェ・アンテナショップ・植物工場・研究施設などを盛り込んだ商業施設を、都会の郊外に作るという企画です。

最初のアイデアは割とスムーズに出来上がり、1次審査を通過。参加するだけでいい、ぐらいい簡単に考えていたのでびっくり。でもそこから大変でした。何も考えずに理想だけを詰め込んで企画したので、商業施設として肝心の原価計算や人件費、建設費などが適当すぎて、先生から指摘されてしまいました。

授業があり、バイトあり、サークル活動もありという中、4人がそろふことすら大変なことでした。プレゼンの要となる説明用のスライド作りは、パソコンが得意な井上さんが。

「修正修正で何度も作り直し、イライラして声を荒げることもありましたが、お互いの意見もかみ合わず、チーム崩壊の危機さえありました。

4人のリーダー役が戸川さん。「聞いたこともないような言葉や

先端技術科学教育部 システム創生工学専攻
博士前期課程2年

仲尾 直樹 (なかお なおき)



NPO法人Green Bird清掃活動後の振り返り発表の様子



マレーシア留学にて(右から2番目)

みなさんこんにちは。徳島大学大学院先端技術科学教育部システム創生工学専攻電気電子創生工学コース博士前期課程2年の仲尾直樹です。僕は阿南工業高等専門学校から編入学して現在に至ります。大学院に進学して現在に至ります。僕は大学に編入学してから「人と人の繋がり」を通じて色んなことが経験できました。大学では、研究室やサークル、アルバイトや学生団体などの多くのコミュニティに所属することができます。僕の場合、編入生サークルTEC、バドミントンサークルBesmie、阿波踊りサークル化応連、NPO法人Green Bird、新町カウントダウン、NPO法人チャレンジサポーターズなどに所属して、学業の他に色んな活動を行っています。また、活動を通じて知り合った友達との誘いを受けて、大学3年生の春休みに人生で初めて海外に留学する機会に恵まれました。留学先はマレーシアの大学で、10日間という短い期間でしたが、毎日が刺激的で楽しい時間を過ごすことができました。英会話には苦労しましたが、留学先の人々とはとても親切で、多くの友人を作ることができ、今でもメッセージのやり取りをしています。

僕はこのNPO法人の立ち上げから関わり、学生代表という立場で、イベントの企画・運営、学生スタッフの統括を行いました。この活動を通して、県内で農業や飲食業、雑貨を取り扱っている方々や、徳島大学以外の大学のサークルの方々と関わり、繋がる機会に恵まれました。



研究室BBQにて(1列目右端)

My Life Situation

アルバイト 飲食店スタッフ
趣味 バドミントン、旅行
サークル B-smile、TEC、化応連

ただ、大学生活を送るにあたって家族の多大なる支援が必要です。高専在学時に比べ、両親への感謝がより一層深まりました。私は実家暮らしですが、1人暮らしの方のほうが、より生活や経済面で家族のありがたみを感じるかも。なので、家族のおかげで得られた「大学生」という時間を「人の繋がりを」通じて残り1年間全力で頑張りたいと思います。最後にになりましたが、今回このような執筆の機会を与えていただきありがとうございます。



トモニSunSunマーケットの様子



日曜市で阿波踊りフラッシュモブをしたメンバーと(1列目右から2番目)



新町カウントダウンでの一コマ



国際学会発表の様子



計算など、頭はぐちゃぐちゃになりながら、計画の全てを見直していききました。厳しかったけど、ホルスタインパワーとチームワークで乗り切りました」

人前で話すのは苦手という山口さんは、「プレゼンのやり方など、良い経験になりました」と、少し積極的になれたかも。松村さんは、「利益率の考え方など、社会に出てからも役に立ちそうです」

本年1月22日、徳島市内のホテルにおいて最終審査が行われ、ホルスタインは見事に第1回「グランプリ」に輝き、観客の投票で選ばれた「オーディエンス賞」もダブル受賞しました。ちなみに生物資源産業学部からは「準グランプリ」も。徳大生「新生学部」大活躍でした。